

メンバーズインタビュー
組合員紹介 No.1

天竜国産材事業協同組合

JAS認証とFSC認証。二つを満たす製品の製材工場として、
天竜材の良さを伝え、県内外に販路を広げていきたい。



どんな事業をされていますか？

当組合は16社を数える組合員のために製材の受託加工をしている。組合発足の動機の一つに人工乾燥機の導入があったが、今では加工機や仕上げ機、含水率・強度測定機など、機械も充実。様々なニーズに対応できる体制となっている。

製品化までの流れは二通りある。一つは組合員が丸太を工場に搬入して、当工場で製材、人工乾燥、修正挽き、モルダーク仕上げを行い、製品化するという流れ。もう一つは、組合員が自社工場で製材したものを持ちこんで、当工場で人工乾燥～モルダーク仕上げを行い、製品化するという流れ。どちらも完成品は組合員に引き渡され、各社で販売されている。

このような受託加工の一方で、組合が中心となり物件を受注し、組合員と連携して納材することもあり、地域資源である天竜材の良さをいかした製品を県内外に出荷している。天竜といえば以前はスギの出荷が多かったが、今ではヒノキと半々になってきている。



ツインバンドソー



高温蒸気式の人工乾燥機



グレーディングマシン

事業の特長や強みは何ですか？

当組合はJASの認証工場であり、扱う天竜材の多くはFSC認証を取得している。品質の確保と地球環境への配慮、この二つを満たす製品を出荷できる工場は全国的にも少なく、まさに希少な存在だといえる。また、しずおか優良木材の認定工場として、県内で最初の認定を受けている。

組合の発足は1977年だが、当時を振り返ってみると、以前にも増して木材に品質の確保が求められるようになってきた。しかし、人工乾燥機は高額で単独では導入が困難。組合を設立すれば、組合が購入して組合員が共同で使うことができるということで各社が結束した。現在、当組合には9名のスタッフがいますが、内7名は工場勤務である。各人が木材の特性を知り、その良さを引き出すための知識や技能を持っているのも強みである。

代表的な製品、サービス、設備などは？

工場が保有している設備は、土台、柱、梁、桁など、主に構造材を一貫生産できるものとなっている。まず、リングバーカーで木材の皮はぎをし、自動帯鋸盤で大径木、長尺木などを製材する。小径木の製材はツインバンドソーで行う。修正挽機は人工乾燥機で乾燥させた製品のねじれや、反りをとっている。

四面カンナ盤（モルダーク）は幅150mm、厚450mm、長さ6mまで対応でき、高い精度により美しい仕上がりとなる。最後にグレーディングマシンで含水率と強度を測定し、その数値を製品に印字。一本一本の品質管理が可能である。人工乾燥機は高温蒸気式を6基、高温蒸気減圧式を1基備えている。

今後の展望をお聞かせください。

組合として組合員のニーズに応えていくことが、第一の使命だが、地域が誇る天竜材の魅力を全国に発信していきたい。現在、円安の影響で米松が高くなっており、国産材に目が向けられている。同じ国産材でも、九州にみられる大規模な施設での大量生産、低価格販売の製品とは、一線を画す付加価値が天竜材にはあると思う。

その一つがFSC認証であり、今後、地球環境への配慮が木材生産にも求められるはずだ。公共工事はその方向となっているが、住宅を建てるユーザーの中にも多少割高でも地球環境に配慮した木を使いたいと考える層が拡大すると見込んでいる。そんな時代の流れを的確につかみ、多くの人たちが天竜材を支持してくれるようなブランディングにも取り組んでいきたい。



JASマークが印字された製材品



7基ある人工乾燥機



右から
石野秀一（代表理事）
和田重明（副理事長）
金原修太（常務理事）

取材日：令和6年7月9日

天竜木材産地協同組合

天竜国産材事業協同組合

代表理事 石野秀一

浜松市天竜区船明3067-5

TEL. 053-926-1010 FAX. 053-925-6452

Mail: tenryudmc@tiara.ocn.ne.jp

設 立：昭和52年12月20日

事業内容：加工品販売（共同販売）受託加工（賃挽き、賃乾燥）

年間売上高：1億3千万円（令和5年度）

許認可等：しずおか優良木材認定工場、FSC-COC認証、製材品JAS認証（目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材、造作用製材）

組合員数：16社